

調査研究の範囲・実施方法

本報告書は、ブロードバンドサービスで常に話題になる音楽配信などのキラコンテンツを追い求める訳ではない。そして学術的な調査というよりも、ブロードバンド時代のインターネットで“音”を活用して一般市民の日常生活を創造的なものに向上させるもの、換言すれば自由に誰もが使える通信環境を駆使して地域のコミュニティ活動・文化芸術活動など市民参加の草の根的な活用に焦点を合わせて考察している。

調査方法としては当財団が独自に文献などで調査する一方、関連する研究や事例、講演会・展示会などの取材・調査を通じて総合的に検討した。

この分野の発展はスピードが速く、本報告書が発刊した後、既に状況が変化していることも起こりえるが、その時点での状況と捉えて戴きたい。